

## 情報処理概論 Q&A

- Q** テキストで気になる点があった。p.87 の最後の現時点のシートの図がのっていたが、その前の練習を手順通りにやっていたら E3 の内容は消去されているはずではないかと思った。
- A** すいません。確かにここは間違っていますね。E3 はその前の練習問題で消去しているので空欄になっていなければなりませんね。お詫びして訂正します (p.90 の図では空欄になっています)。ご指摘ありがとうございます。
- Q** 最後に 2 番目まで、シートは教科書と同じようになっていたが、最後の練習を行うとシートがどうしても教科書と一緒にならず、何がダメだったのかわからなかった。
- A** 25 行目以降の違いならば、原因がわかりそうだから最後の操作かな。A 列を D 列と E 列の間に移動し、その後、B、C 列を D 列と E 列の間にコピーするという操作です。列間に入れる部分を何か間違えたのではないですかね。p.100 の図には間違いが無いと思います (昨年度までの実績で、まず大丈夫でしょう)。
- Q** \$マークをどうやって入力すればよいか分からなかったのでインターネットで調べました。(F4 を何回か押しました。)
- A** F4 キーを使って\$を入れる方法は補足説明に書いておきましたが、単に\$を入れるだけですから、キーボードから入力すればよいだけです。それが分からなかったということですか？もし、キーボードの利用法が分からないのならば第 1 章を読んでみてください。記号の入力方法も出ています。
- Q** セルの内容がどのように変化しているのか何となく理解していても言葉にして説明することは難しく感じた。
- A** これから大学で学び、更に社会に出て様々な業務を行っていくためには、他の人に説明し、理解してもらうことが求められてきます。今までは、説明といっても先生などに対して行うことが多かったかと思います。この場合は、相手は内容が分かっているのです、中途半端な説明でも、「アッ、この人はこのくらい分かっているんだな。」という形で受けとめて貰えたかもしれませんが、今後は知らない人に対する説明ですから、中途半端な説明では全然分からないということになってしまいます。従って、相手が理解できるように説明することが必要です。そうした練習を、この講義を含めて、様々な状況の中で行っていくことが重要です。
- Q** セルや行列を削除して、セル参照を用いていた数値の変化を見る時、削除した時点では数値が変わらず、一度セルを編集モードにすると数値が変わるということになった。なぜすぐに数値が変化しないのかと疑問に思った。
- A** Excel では、一つのセルにだけ変更を加えても、それがシート全体に影響を及ぼすこともあり、そうしたときにはある程度時間がかかりますが、今回の課題でそこまでは行かないだろうと思います。そうすると、Excel 自身、あるいは PC 全体のどこかで、何か引っかかっていたということが考えられます。原因までは分かりませんが、こうした場合、一度ソフト (今は Excel) を終了して、再度やり直す、あるいは PC そのものを再起動させるなどにより、直る場合もあります。まあ、試してみる価値はあるでしょう。それでも直らないとなると、もうちょっとしっかり見てみないと分かりませんね。
- Q** 個人的には、今日のような解答 (Excel の具体的な操作方法) を授業で行った上で、復習という形でこのようなプリントを出してもらえると、自分自身でかみくだきながら、理解を深めることができたと思う。
- A** 確かにそういう方法もあります。ただ、自分で発見的に理解していくという方が、理解度としてはとても深いものになります。全く歯が立たないような問題ならば、最初に教えるべきでしょうが、この部分については、一つ一つ丁寧に見ていけばなんとかなる範囲だろうということでこのようにしています。また、今後はいろいろなことを自分で勉強していくという機会が増えていくと思います。そうしたときには、やはり自分で悩み、考えながら進めていくことになります。そのための練習という意味合いもあります。
- Q** 前半までは非常にわかりやすく、Excel の知識がない私でも理解できたが、後半からは理解できなかった。問題を進めていく過程で、以前の操作をどこまで保存しているのかも明確でないし、操作説明もわざと理解しにくいような言

い回しを使っているのではと感じた。Excel を修得したいと思いこの講義を受講したが、今回の課題内容を理解するために市販の参考書やウェブサイト調べてようやく理解できた。なぜ市販の参考書ではなく講義用テキストを用いるのですか。

- A ご期待に応えられなくてすいません。「後半から理解できなかつた」とのことですが、どの辺からでしょうか。この本では、Excel というソフトがどのような考え方でできているのかを、発見的に理解してもらうようにしてあります。そのため、答えを先に書くのではなく、そこで何が起きているのかを、読んでいる人に考えてもらうようになっています。「操作説明がわざと理解しにくいような言い回し」と感じられたのは、そこで一端立ち止まり、考えてもらいたかったからです。当然、始めから説明してある本よりも分かりにくいとは思いますが、自分で発見的に理解するということができると、かなり深い理解が得られます。それを理想としていますが、分からなくなってしまう人もいでしょうから、前回の講義で説明を行いました。最終的な理解を得られなかった人でも、自分なりに考えて、読み進めていった人ならば、もう一度整理し直せば理解できるのではないかと思います。このような書き方としている理由としては、このように深い理解を求めていると共に、こうしたことを通じて論理的な思考力を涵養することも目的としています。これは大学教育としてとても重要なことだと考えています。これが、このテキストを用いている理由です。もちろん、Excel のとりあえずの使い方を身に付けるだけならば市販の参考書もあります。それで十分だということならば各自で勉強すればいいだけで、わざわざこのような講義を聴く必要はないでしょう。なお保存については、この間では保存するなという指示がある所以外ならばどこで保存しても問題ありません。

**Q 要望としては、各パートごとに応用問題（九九表や入力シートの作成）を取り入れてほしい。進級や卒業条件単位確認表の作成も面白そうである。**

- A Excel について、より深く学んでもらうために、経済情報処理という講義を隔年で開講しており、来年度は開講予定です。必要ならばそれを聴講してください。ただしこの講義では、単に Excel の使い方ということではなく、そもそもどのような数式を計算すればよいかなども考えてもらっています。そうしたこともできないと、単なるオペレータになってしまいますからね。なお、進級や卒業要件単位の計算を行う Excel のファイルは私が作成したものがありません。私の Web サイトのトップページ (<http://www.econ.niigata-u.ac.jp/~nagai/index.html>) から入手できますので、興味があったら見てください。

**Q 今回は主に数式や消去・削除・セル参照・挿入などが扱われていたが、今後関数についても扱っていくことになると思う。**

- A 「関数を制する者が Excel を制す」というような感じで捉えている人が多いのかなと思います。確かに Excel には有用な関数がありますが、それができれば何とかなるというものでもありません。基本はまず、数式ということになります。<sup>イエローブック</sup>黄表紙でも基本的な関数の使い方や SUM など、それ程難しくない関数の説明はあります。これらでとりあえずの計算はできるでしょう。より複雑な関数についてですが、今手元に「Excel 最強の教科書[完全版]」という本があります。ここでは「業務成果に直結する便利な関数 11 選」ということで 11 個の関数が紹介されています。もう一冊「たった 1 日で即戦力になる Excel の教科書」という本では「真っ先に知っておきたい 6 大関数」ということで 6 個の関数が出てきます（ちなみにこの本では「数式を制する者は Excel を制す」という章がありました）。ということで、とても重要だとされているのが「IF 関数」、「SUMIF 関数」、「VLOOKUP 関数」といったものなのですが、これらの関数については、単にその関数の使い方ということだけではなく、そうした関数がどういった場面で意味を持ってくるのかなども含めて学んでいく必要があろうかと思えます。そこまでいくと、ちょっとこの講義では手に余ることから、経済学部専門の講義ですが、経済情報処理という科目を隔年で開講してしまして、そちらの方で扱っています（以上、宣伝）。